

没後60年

「最後の漢詩人」といわれた服部擔風(1861~1904)。
愛知県を中心に多くの門人を育てました。
一宮の門人・江崎梅溪の残した資料を基に、
擔風とその門人たちの作品と交流を紹介します。

漢詩人服部擔風と

はつとりたんぷう

その周辺



福垣縣赤馬郡 服部

『擔風詩集』口絵より

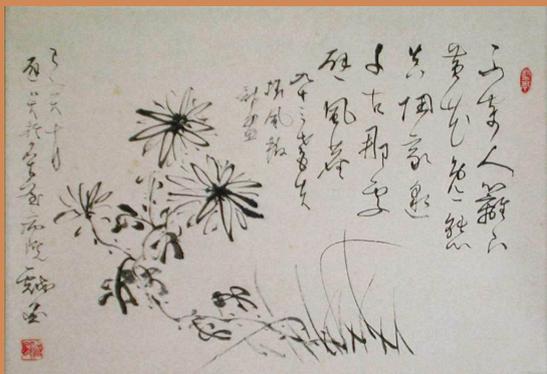
2024年

10月5日

土

12月1日

日



服部擔風「菊図並賛」



服部擔風朱批・林篁陽「漢詩稿」

- 開館時間／午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）
- 休館日／月曜日（10月14日・11月4日は開館）、10月15日（火）、11月5日（火）
- 観覧料／10月5日～11月17日 特別観覧料（企画展「いちのみやの文化財」を含む）
一般 500 円、高校・大学生 250 円、中学生以下無料
11月19日～12月1日 常設観覧料
一般 300 円、高校・大学生 150 円、中学生以下無料
- 20人以上の団体は2割引。
- 市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料。
- 身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳（ミライロID可）を持参の方（付添人1人を含む）は無料。

一宮市博物館 〒491-0922 愛知県一宮市大和町妙興寺 2390

「名鉄名古屋駅」より名鉄名古屋本線特急岐阜行に乘車、「国府宮駅」にて普通岐阜行に乗り換え、「妙興寺」駅下車南口より徒歩7分。ニココふれあいバス「博物館西」下車徒歩約5分。